

ねらい

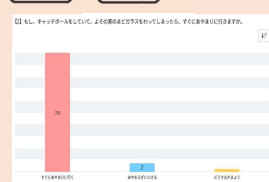
正直にできないときの後ろめたさについて深く考え、正直に明るい心で元気よく生活しようとする実践意欲を高める。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	- 自分の経験を振り返る。 - あらすじを伝え、自分ならどうするかを考える。 - 本時の学習のめあてをつかむ。 正直に行動すると、どのような気持ちになるだろうか。	ロイロノート（アンケート機能） 自分の経験を振り返る場面、教材の内容に対して自分だったらどうするか考える場面で揺れ動く気持ちをグラフで可視化することでめあてへ焦点化させる。
展開	- 教材文を読み、主人公の心情について話し合う。 - まどガラスを割って、夢中でかけ出した千一郎の気持ちを考える。 - 何度も気になってまどガラスを見に行った千一郎の気持ちを考える。 - お姉さんの行動を見た後の千一郎の気持ちを考える。 - おじいさんの言葉を聞いた後の千一郎の気持ちを考える。 - 正直に行動してよかったことを発表する。 - 物を壊してしまったとき - 忘れ物をしたとき - きまりを守れなかったとき	ロイロノート（シンキングツール「座標軸」） 座標軸の左側に「あやまらずににげる」、右側に「あやまりに行く」という行動、上側に「すっきり」、下側に「モヤモヤ」という気持ちを表すテキストを事前に貼ったものを児童に送る。 (1)の気持ちを青色のテキスト、(2)の気持ちをピンク色のテキスト、(3)の気持ちを黄色のテキストに書かせて、千一郎の気持ちの変容を捉えさせやすくさせる。
終末	- 授業を振り返る。 - 正直に行動することで、モヤモヤした気持ちがよい気持ちに変わる。 - 正直に行動することで、自分もまわりの人もみんなすっきりした気持ちになる。	ロイロノート（カメラ・提出箱） 道徳ノートに本時の振り返りを書かせる。その後、ノートをカメラで撮り、提出箱に写真を提出させ、他の児童の振り返りにも触れられるようにさせる。（無記名） ロイロノート（アンケート機能） 再度導入で用いたアンケートを行い、授業後の気持ちの変容を視覚的にとらえさせる。



ロイロノート（アンケート機能）



アンケート機能を用いることで、揺れ動いている気持ちや授業後の気持ちの変容等が可視化される。導入場面でめあてに焦点化させたり、終末場面で気持ちの変容を視覚的に捉えさせたりする際には、非常に有効である。



シンキングツール（座標軸）



今回は、2つの行動が考えられる場面での気持ちの変容を捉えさせるために座標軸を用いた。気持ちの変容を視覚的に捉え、整理することができるので、気持ちの変容を考えるときの場面では有効である。

小学校 実践例 小3

教材名 「お母さんの請求書」
内容項目 家族愛、家庭生活の充実

ねらい

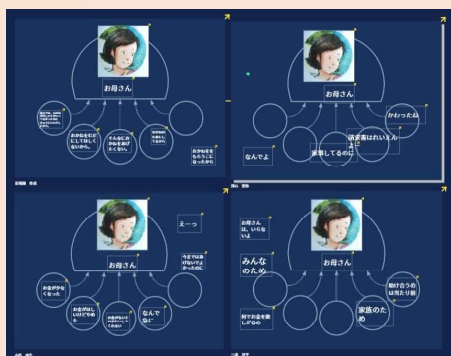
報酬の請求書から母親の思いを理解し、理解を深め、家族の一員として、進んで楽しい家庭を作ろうとする意欲や態度を高める。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	1 自分の経験を振り返る。 ・ 家族に対する気持ちについて質問をする。 2 本時の学習のめあてをつかむ。 家族を大切にするには、どんな心が大切だろうか。	1 今までの自分の経験を振り返る場面で、タブレットに表示された質問に答えさせる。 ロイロノート（アンケート機能）  大切な存在なのに、いやな言葉や行動をしてしまうことがある。
展開	3 教材文を読み、主人公の心情について話し合う。 (1) 請求書を書いている時のだいきの気持ちを考える。 ・ 手伝いをしたのだからもらうのは当然だ。 ・ もらえたらラッキー。 (2) 請求書を書いている時のお母さんの気持ちを考える。 ・ 残念 ・ 家族のためにすることは当たり前のこと	2 自分の考えを表出しやすくするために、シンキングツールを用い、考えを表出させる。 ロイロノート（シンキングツール「クラゲチャート」） お母さんの気持ちを個々に考えさせ、それを生徒間通信で班長に送り、送られた考えを基にグループで話し合いを行う。 
終末	4 家族を大切にするために、自分にどんなことができるか考える。 5 授業を振り返る。 これまでの自分の考えを振り返り、今後の自分の生活に生かす。	3 これまでの考えと比較し、これからの生活に生かすことをまとめさせる。考えさせたことを全体で共有し、なぜそのように考えたのかを発表させる。（ロイロノート提出箱から共有させる。） ロイロノート（提出箱）



ロイロノート（生徒間通信）



生徒間通信を利用し、友達のことを自分のタブレットに表示させ共有することで、自己の考えを再構築させるのに有効である。



シンキングツール（クラゲチャート）



シンキングツールの使用やタブレット上での話し合い活動は、多面的・多角的に考えさせたり、コロナ感染症対策で距離を確保したりする上で、とても有効である。

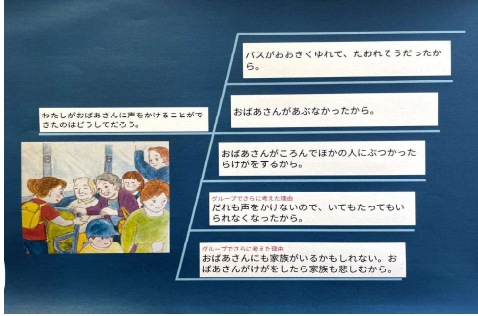
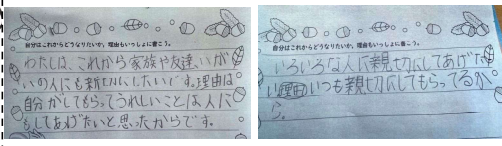
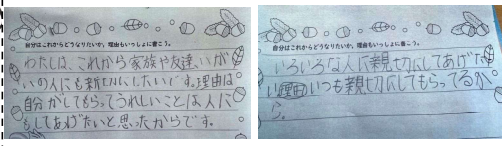
小学校 実践例 小3・4

教材名 「バスの中で」
内容項目 親切、思いやり

ねらい

相手のことを思い、親切にできたときの気持ちを話し合う活動を通して、進んで親切な行いをしようとする態度を養う。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	1 自分の経験を振り返る。 親切にした経験、してもらった経験について回答を共有する。 2 本時のめあてをつかむ。 誰にでも進んで親切にするためには、どんな心が大切だろうか。	今までの自分の経験を振り返る場面で、タブレットに表示された質問に答えさせ、結果を見せる。 ロイロノート（アンケート機能） - あなたは、誰かに親切にした経験がありますか。 - 誰に親切にしましたか。 - あなたは、誰かに親切にされた経験がありますか。
展開	3 教材文を読み、主人公の心情について話し合う。 (1) 心の中で「二人のわたしがあらそいはじめた」ときのわたしの気持ちを考え、自分なら声をかけるかどうか想像する。 - 心配だけど、はずかしい。 - 気づかないふりをしてしまおう。 - 声をかけなきゃ。 (2) どうしてわたしはおばあさんに声をかけることができたのか理由や心情を考える。 4 誰にでも進んで親切にするために、どんな気持ちを大切にしていきたいか考える。 - 相手の気持ちを考える。 - 自分がしてもらってうれしいことはやってみる。	自分の考えを表出しやすくするために、シンキングツールを用い、考えを表出させる。 ロイロノート（シンキングツール「くまでチャート」） 個人→共有ノート（グループ） どうしてわたしがおばあさんに声をかけることができたのかを考えさせ、グループでツールを完成させ、全体で共有し、まとめにつなげさせる。  ロイロノート（提出箱） 導入のアンケートで答えた気持ちを思い出しながら、これから自分はどうなりたいか振り返らせ、回答共有機能により全体で共有する。 
終末	5 授業を振り返る。 アンケートで答えた自分の経験をもとに、自分はこれからどうなりたいか理由とともにまとめ、今後に生かす。	



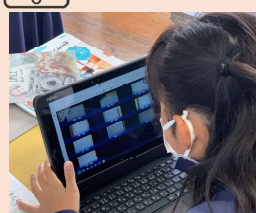
シンキングツール（くまでチャート、共有）



個人で主人公の気持ちを書きこんだ後、グループで考えを交流し、共有ノートにさらに付け加えさせることで、多様な考えを視覚化するのに有効である。また、個人の考えをもとにグループ内でさらに話し合いを深めることも可能である。



ロイロノート（提出箱）



紙面に書き、写真に撮って提出させることで、全児童の思いを一斉に共有することができる。このことにより、他者理解にもつながることができる。

一人一人の書いたものが一つにまとめられるので、評価の際にも活用できる。

小学校 実践例 小4

教材名「遠足の朝」

内容項目 善悪の判断、自律、自由と責任

ねらい

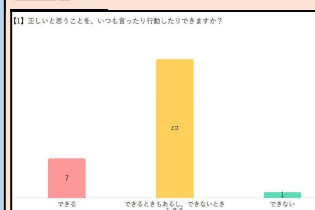
正しいと判断したことを自信をもって行うことはすがすがしいことであることに気づき、よいと思うことを進んで行おうとする態度を育てる。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	1 自分の経験を振り返る。 ○ 正しいと思うことをいつでも言ったり行動したりできますか。 2 本時の学習のめあてをつかむ。 正しいことをするときに必要な心は何だろうか。	今までの自分の経験を振り返る場面で、タブレットに表示された結果を見せる。 ロイロノート（アンケート機能） 【1】正しいと思うことを、いつでも言ったり行動したりできますか？ ○ できる ○ できるときもあるし、できないときもある ○ できない 【2】やってはいけないことをしてしまったことがありますか？ ○ ある ○ ない
展開	3 教材文を読み、主人公の心情について話し合う。 (1) 一人ぼっちにされているなおみさんを見たときの「わたし」の気持ち (2) すぐに誘えなかったときの「わたし」の気持ち (3) 迷った末に、なおみさんを誘ったときの「わたし」の気持ち 4 主人公がとった行動について考える。 赤…すぐに誘う 黄…誘いたいけど誘えない 青…誘えない	自分の考えを表出しやすくするために、タブレットのテキストカードの色で自分の考えを表出させる。 ロイロノート（テキストカード） ・ 自分が主人公の立場だったら、どのような行動をするかどうかをテキストカードの色で示し、異なる色を提示した児童と交流させる。 
終末	5 行動の違いについて考える。 ・ 相手のことを考えているところと、自分のことだけ考えているところが違う。 ・ 勇気を出しているところが違う。 6 授業を振り返る。 ・ 正しいと思うことを行うのは難しいけど、それでもした方がよい。 ・ 正しいと思うことは、自信をもって行うことが大切だ。	ロイロノート（提出箱） タブレットに場面絵を提示し、振り返りを書くことが難しい児童の参考にさせる。 書いた振り返りをカメラ機能で撮り、提出箱に提出させる。 



ロイロノート（アンケート機能）



アンケート機能は操作が簡単であるため、子どもたちも戸惑うことなく、アンケートに回答できていた。

また、匿名性があり、回答内容を他者から見られることがないので、他者を意識せず正直な自分の考えを回答できている。



ロイロノート（テキストカード）



タブレットを見ながら、違う色（考え）のカードを提示した友達と意見交換させることで、意図的に多面的・多角的な考えに触れさせることができる。